

まちづくり交付金 事後評価シート  
桑折町歴史的風致維持向上地区

令和6年3月

福島県桑折町

様式2-1 評価結果のまとめ

都道府県名	福島県	市町村名	桑折町	地区名	桑折町歴史的風致維持向上地区			面積	534ha
交付期間	令和元年度～令和5年度	事後評価実施時期	令和5年度	交付対象事業費	227.0	国費率	0.417		

1)事業の実施状況	当初計画に位置づけ、実施した事業	基幹事業	史跡桑折西山城跡周辺整備事業、万正寺の大カヤ周辺整備事業、旧伊達郡役所周辺整備事業、桃源郷周遊性向上事業、伊達崎排水機場周辺整備事業、町道2002号線						
		提案事業	事業効果分析調査						
	当初計画から削除した事業	基幹事業	桑折宿案内板等整備事業、桑折宿周遊拠点整備(ポケットパーク)事業	事業の必要性、妥当性、効率性等から精査した結果、実施しない、または、2期計画実施事業とするものと整理された	指標3の公園・広場の充足度に対する住民満足度に影響がある				
		提案事業	歴史的町並み景観ガイドライン策定事業、歴史的建造物等修景助成事業、屋外広告物改修助成事業	事業の必要性、妥当性、効率性等から精査した結果、実施しないものと整理された	指標、指標への影響は生じない				
	新たに追加した事業	基幹事業	なし						
		提案事業	なし						
交付期間の変更	当初	なし	交付期間の変更による事業、指標、数値目標への影響						
変更	なし								

指標	単位	従前値		目標値		数値		目標達成度	1年以内の達成見込み	効果発現要因(総合所見)	フォローアップ予定時期	
		基準年度	目標年度	モニタリング	評価値							
指標1	旧伊達郡役所の入館者数	人/年	5,594	H29	7,000	R5		9,850	○	あり なし	目標を達成しており、整備による効果が発現している。	なし
指標2	旧奥州街道の歩行者数	人/日	202	H30	260	R5		1,562	○	あり なし	目標を大きく超える数値に達しており、整備による効果が発現している。	なし
指標3	身近な公園・緑地・広場の充足度に対する住民満足度	%	72.9	H27	80.0	R5		71.0	△	あり なし	● 目標に達していないが、満足度の内容については改善が認められるため、整備による効果が発現している。	なし

指標	単位	従前値		目標値		数値		目標達成度	1年以内の達成見込み	効果発現要因(総合所見)	フォローアップ予定時期
		基準年度	目標年度	モニタリング	評価値						
その他の数値指標1	なし										
その他の数値指標2	なし										
その他の数値指標3	なし										

4)定性的な効果発現状況

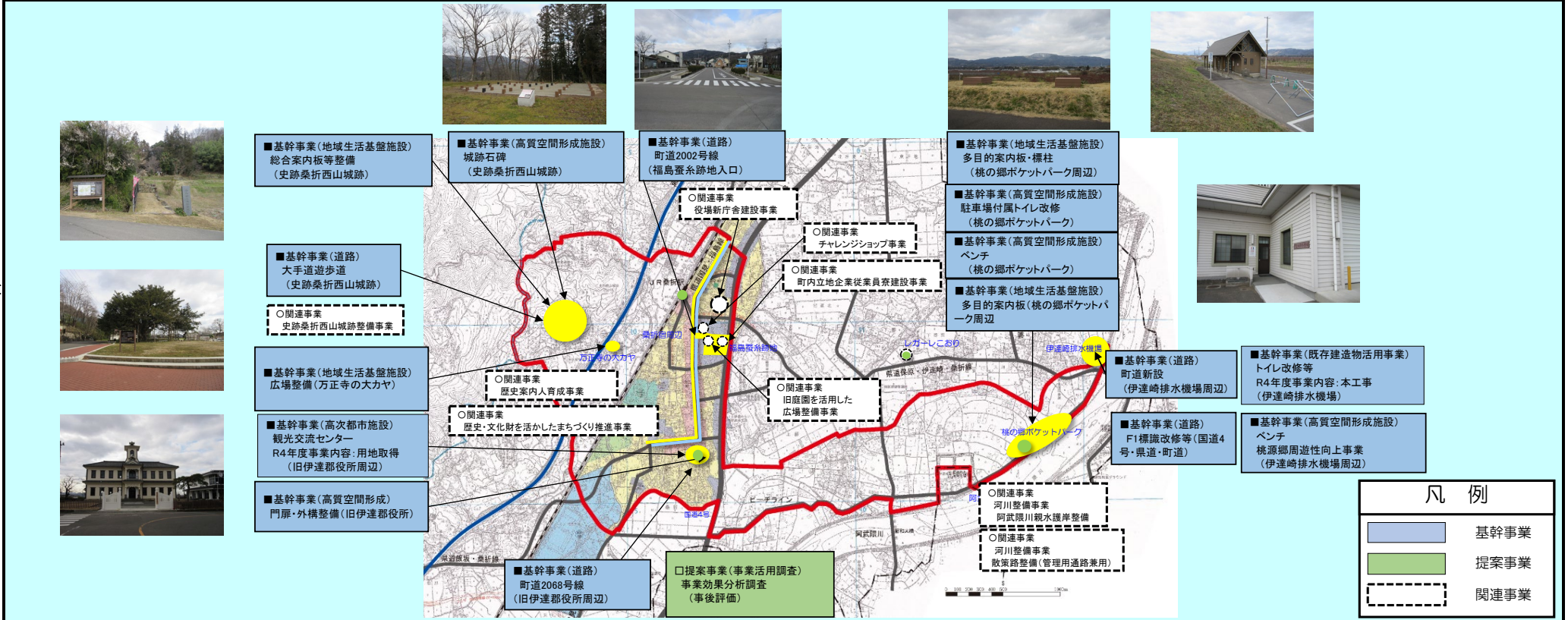
なし

	実施内容	実施状況	今後の対応方針等
5)実施過程の評価	モニタリング	なし	都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった
	官民連携による取組	なし	都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった
	持続的なまちづくり体制の構築	なし	都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった

## 様式2-2 地区の概要

桑折町歴史的風致維持向上地区(福島県桑折町) 都市再生整備計画事業の成果概要

まちづくりの目標	目標を定量化する指標	従前値	目標値	評価値
○悠久の「歴史」「自然環境」や「旧街道の町並み」に魅力を感じ、来訪者が「訪れて楽しい」「住んでみたい」と思えるまちづくり、町民が地域に愛着と誇りを持ち「住み続けたい」と思えるまちづくりを目指す。 ・「歴史」に彩られた趣のある景観を楽しむ周遊できる魅力と活気あふれるまちづくり ・「かわ」と「桃源郷」が織り成す美しい景観や歴史探訪、自然体験、農業体験を楽しむ周遊できるうおいあるまちづくり ・町民や来訪者が集い賑わいあふれる趣のあるまちなかづくり	旧伊達郡役所の入館者数	単位:人/年 5,594	H29 7,000	R5 9,850
	旧奥州街道の歩行者数	単位:人/日 202	H30 260	R5 1,562
	身近な公園・緑地・広場の充足度に対する住民満足度	単位:% 72.9	H27 80.0	R5 71.0



まちの課題の変化	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地震によりいくつかの歴史的建築物が失われたものの、歴史資源の環境整備や修景事業、案内情報等の充実により、街歩きを誘引し、にぎわいを形成していくための環境が整いつつある。今後は旧街道の雰囲気を残すまちとして、沿道の街並みの維持・改善が課題である。</li> <li>・桃の郷ポケットパークにおける休憩設備の設置や案内情報等の充実により、河川や農地の美しい景観を生かした周遊拠点機能が整備された。今後はこれらの拠点機能の充実とともに、農地、河川、市街地を有機的に結ぶ周遊ネットワークの形成が課題である。</li> </ul>
今後のまちづくりの方策(改善策を含む)	<ol style="list-style-type: none"> <li>①歴史的資源等の環境整備に加え、旧街道にふさわしい街並み景観の形成を図る。</li> <li>②距離が離れている歴史資源・自然資源相互の周遊性を高めるため、車利用に対応する駐車場の整備を進めるとともに、自転車での周遊を促すサイクリングコースの設定や自転車道・駐輪場の整備を推進する。</li> <li>③旧街道沿いを誰もが歩いて楽しめる観光の場としていくため、商店等の魅力化やインフォメーションの充実・ホスピタリティの向上、空き店舗を活用する起業家への支援など、地域活性化と連携するまちづくりを検討していく。</li> </ol>